

(社)兵庫県建築士会神戸支部 すまいスクール委員会
平成24年夏休み親子事業「驚き・発見！ねん土でつくろう 夢の家」

日時:平成24年8月4日(土)13:30~16:50

会場:神戸市立埋蔵文化財センター3階研修室

参加者:小学生とその保護者 18組 34人

兵庫県建築士会神戸支部では、長年に渡り、親子で建築文化に親しんでいただく催しを行ってききましたが、夏休みに作品作りを兼ねて行うのは今回で5回目となります。

今年は一昨年に引き続き、西神中央にある神戸市立埋蔵文化財センターで開催しました。

前半は、埋蔵文化財センターの学芸員内藤さんに、主に古代の集落や建物の話をしていただき、次に建築士による各種建築材料、とりわけ土をテーマにした(人間だけでなく、他の生物の住まいも含む)クイズ。そして金属がなかった時代に用いられたサヌカイトや黒曜石といった石を使って紙を切る実演を見、火を起こす体験などをした後、1階の展示室に行って、竪穴式住居の原寸模型や、割れたかけらを組み合わせて土器に完成させる展示などを楽しんでいただきました。



学芸員による講義風景



火起こし体験

後半、いよいよ粘土を使っての作品作り。赤茶色の埴輪粘土に加え、白の紙粘土・木の枝・葉・松ぼっくり・サザエや二枚貝の貝殻・細かい石・その他1年に渡り収集した材料、絵の具やラメも準備しました。

参加者の中には、完成図を持参で来たお子さんもあり、1時間半、全員が懸命に作品作りに取り組んでいました。その間、建築士のスタッフは、固定の仕方の相談を受けたり、扱いが危険なノコギリを使っての枝のカットなどをお手伝いしました。



最後に、一人一人完成した作品を手前に出でて、テーマや工夫した点を発表。人前での発表が恥ずかしそうな子もいるし、いい作品ができたと自慢げな子もいるし、皆さんがんばって作った作品を紹介していました。そして、弥生人の扮装(貫頭衣と勾玉ネックレス)をして作品と一緒に記念撮影した写真を貼り付けた認定証が全員に授与されました。



作品のテーマや工夫したところを発表



貫頭衣を着て、緊張の記念撮影



どの子も集中力が途切れることなく夢中で取り組んでいたし、そばで見守る親御さんとのコミュニケーションもしっかりはかれていたようで、親子で夏休みのいい思い出になったのではないのでしょうか。終了後の参加者の晴れ晴れと満足げな帰り姿を見て、来年もやる気満々のスタッフ一同の顔がありました。



一部ですが完成作品を紹介します